

入門者も熟練者も必読のハイレゾ音楽ガイド

mora PRESENTS 『ハイレゾバイブルII』 電子書籍で発売

通常価格300円を、ソニーの本屋「Reader Store」では、期間限定特別価格**100円**で販売

株式会社レーベルゲート（本社：東京都港区、代表取締役：一志 順夫）が運営する音楽ダウンロードサービス「mora 〜WALKMAN®公式ミュージックストア〜」が全面的に企画協力し2015年3月に発売された『ハイレゾバイブル』の第二弾となる、『ハイレゾバイブルII』が、2017年5月9日（火）より、ソニーの電子書籍ストア「Reader Store」で販売開始されました。

『ハイレゾバイブル』同様、『ハイレゾバイブルII』はハイレゾの聴き方やお勧め楽曲をまとめた雑誌となりますが、今回は“ハイレゾをもっと身近に”をコンセプトに、よりスタイリッシュな編集方針のもと、アーティストが語るハイレゾの魅力やハイレゾ対応モデルのプロダクトレビュー、お勧め音源100作品のレビューなどに加え、音楽ファンにとって最も身近なスマホ環境でいかにハイレゾを楽しむか、といったハイレゾがあるライフスタイルを具体的に掲載しています。

なお、「Reader Store」リニューアルを記念して5月9日（火）～6月8日（木）までの期間、通常価格300円（税込）を、期間限定特別価格として100円（税込）で販売いたします。

是非、この機会に新しくなった『ハイレゾバイブルII』をお楽しみください。





【商品概要】

- ◆土岐麻子 シティポップの女王が語るハイレゾの魅力 / YOUR SONG IS GOOD インタビュー
- ◆ハイレゾで聴きたいアルバム100選 (邦楽、洋楽、ジャズ、クラシック、アニメ&ゲーム)
- ◆ハイレゾ対応ハードウェア紹介
- ◆iPhoneで楽しむハイレゾ
- ◆ハイレゾトピックス10 ～ハイレゾをおすすめる10の理由～ 他

全100ページ

発行：株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

003 SUCHMOS THE KIDS FLAC ● 68kHz/24bit SPEC'S SHOWER MUSIC ORIGINAL・2017 32分(全曲)/7,200円(全1巻) ※ Listening point ▶ ● TOBACCO 00:01 キーボードとスクラッチ、ギターのカッティングがすごい 00:40 音の量がよい。 キーボードなどの音が印象的 03:01 キーボードのソロ、ベースの伝音多めの音で聴くリアムも入っている ソリッドで太い ベースの質感が特徴 Suchmosの「STAY TUNE」はバンドのクワイマCMに使われていて、一般のテレビのスピーカーでもよく聴こえる音圧の高さや音の濃さも出てくる。ベースとドラムのキックなど低域のレンジはけっこう高い領域まで伸びているのが特長。また、ベースの音色がリリッシュでありつつ太いもので、ハンドサウンズのなかで存在感が高い。サウンドステージとしてはセンターにまじり気味だが、シンセの音像が広く展開している、ハイレンドでの空間性も感じられる。	004 cero 街の報せ FLAC ● 48kHz/24bit カカリウX ORIGINAL・2016 30分(全曲)/7,800円(全1巻) ※ Listening point ▶ ● ロープウェー 00:00 鍵盤タップロから独唱が 流れていく 00:23 パークッションが強く いきなり入る 03:30 まるで耳で鳴ったような音響を聞かせる 繊いダウンドビートな かつろさがもたらす cero独特の打ち込みで刻まれるピートとリズム感が、その生き生きとしたグルーブ感などがどこか新鮮な身体をつくる歌に結びついておもしろい。そうかと思うところ、なかなかバネが強いクラゲが駆け回らされているようにも、あまり過激には聴いてほしくないという感じがする。位置的に少し工夫を加えているのがハイレンドにもよく見えるが、電気的なエコーの広がりがだけでなく、オーディオ装置の外側にまで音楽が入っているのを感じられ、3人の個性がよく現れている。	005 RADWIMPS 人間開花 FLAC ● 48kHz/24bit Universal Music LLC ORIGINAL・2015 51分(全曲)/7,800円(全1巻) ※ Listening point ▶ ● 前奏前世 (original ver.) 00:01 左右から流れ来る聞こえる エレキギターの解離度 00:22 スペースハイクなどの ドラマの立ち上がり 03:30 コアレスとの間とだけの シンプルなおんなの音 それぞれ楽器が 明確に聴こえてくる 近頃の演奏家みんなのなかでも最も、演奏ともっとオリジナリティの高い一枚。アニメ映画『君の名は。』の主眼歌「前奏前世」を作成した「スペース」、オリジナルを取組んでいる、エレキギターの音色がすべて、全体を通して音楽的な力による満ち足りた、ベースとドラムのそれだけ深みがあり、真ん中の通達も野田洋次郎のボーカルと相合している。アルバム全体を通じてそれぞれの楽器が明らかに聴こえてくる、演義力が現れただけでなくオーディオ的にも質が高い。	006 OKAMOTO'S OPERA FLAC ● 68kHz/24bit Sony Music Labels Inc. ORIGINAL・2015 54分(全曲)/7,200円(全1巻) ※ Listening point ▶ ● NOISE 90 00:00 いきなりメスの割れる音、ドラムと ベースのグリスに合わせたヴォーカル 00:44 複数のSEと同時にベースが回り、 フルバンドになる 03:23 再びドラムの間とだけのピアノで ヴォーカルのときどき 劇音楽仕立てな 楽曲が秀でていく! 決して美声ではないが、エレキギターへ送る空気の来しさを想像させるオケストラショウのヴォーカルが特徴。ギターはアカギもエニキギンガノミヤ、曲によっては別の人の歌唱も交差してくる。そこへベースとキーボードが分離してハーモニーを添えて、ドラムがダンパーペダルを踏んで拍子。両者の音や重なる部分のSEを使い、それにならぶ音楽仕立てなのがいい。時として壊れる瞬間もあるけど、気づけばまた音楽の世界に取り込まれている。	007 MAN WITH A MISSION Dead End in Tokyo FLAC ● 44.1kHz/24bit Sony Music Labels Inc. ORIGINAL・2017 54分(全曲)/7,600円(全1巻) ※ Listening point ▶ ● Dead End in Tokyo 00:00 巨大なサイファーホールに登場、 コースがセーター前に倒れたシーンに込め 00:32 リードヴォーカルあり、 ギターのカッティングがすごい 02:00 スライシスベースの上に 跳ね渡る ミクスチャー主体の スタイリッシュなサウンド 「Dead End in Tokyo」はアメリカのロックバンド、フール・オブ・ボイのバックトラック・スタンプがプロデュース。巨大なタコのような音やコースなど、ミクスチャーロックのスタイルがサウンドを動かす。「Hey Now」はBOOM BOOM SATELLITESの中野雄之助のリードで、剛性の強いメロディの4つ打を基本に、疾走感のあるダンスビートをサウンドに仕上げられている。展開後のラブピースも面白い、ハイレンドではより驚きを感じる。	008 WANIMA やってみたい FLAC ● 48kHz/24bit NIZA OF DEATH RECORDS ORIGINAL・2017 32分(全曲) ※ Listening point ▶ ● やってみたい 00:25 平穏すぎるベースのリズム 01:30 軽快なバスドラムのキレと立体感 02:30 曲調のハイライトとなる「やってみたい」という掛け合いの運動風景 ギターの躍動感は ハイイレンドでは ライブ系友達のアレンジしたキャッチーなメロディと独自の歌詞世界が見え、CMで耳にしたことがある方が多いだろう。だが、実際に聞いてみると域の抜けや、ギター、ドラムの細やかなこと、好きどころがある曲だ。25秒すぎから始まるギターのリズム感和周知感、ハイイレンドならではのエネルギーを感じる。低域のレンジには広くないが、音数が多いので、サウンドにまじり気味だが、シンセの音像が広く展開している、ハイレンドでの空間性も感じられる。
--	--	---	---	---	---

《「mora」に関して》

最新ヒット曲から邦楽、洋楽の名盤、アニメ他、話題のハイレゾまで充実のラインナップ。
豊富な決済方法でパソコン、スマホ（Android/iPhone）等から簡単に購入、再生ができます。
購入した楽曲はいろいろな端末で10回まで再ダウンロードできます。
「mora ～WALKMAN®公式ミュージックストア～」 <http://mora.jp/>

-ハイレゾ音源とは-

「ハイレゾ音源」とは、従来のCD を超える情報量を持つ高音質音源。

従来の圧縮音源では十分に伝えきれなかった楽器や声の生々しさや艶、ライブ会場の空気感や臨場感などのディテールに触れることで、音楽をより感動的に体感することが可能です。

-DSDとは-

ハイレゾ音源には、デジタル化の方式として、「PCM方式」の他に「DSD方式」があります。

高いサンプリング周波数を持つDSD方式は、デジタル録音ながら音の滑らかさがアナログ記録により近いと言われています。

※ WALKMAN®、ウォークマン®, およびそのロゴは、ソニー株式会社の日本国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ 「mora」およびモーラの名称、ロゴは、株式会社レーベルゲートの登録商標です。

※ その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

《「Reader Store」に関して》

小説・コミック・雑誌など幅広いジャンルのラインアップを取り揃える国内有数の電子書籍ストア。2017年5月9日（火）にシステム刷新とサイトリニューアルにより、大幅に利便性が向上し、今まで以上に利用しやすい書店として生まれ変わりました。

「Reader Store」は、拡大する電子書籍市場の中で、『デジタル』ならではの機能強化により、本好き読者のニーズに最大限に応えています。

ソニーの電子書籍ストア「Reader Store」 <http://ebookstore.sony.jp/>